

## 「薬用作物の産地化に向けた地域説明会および相談会」始まる

2022年9月20日(火)、「薬用作物の産地化に向けた地域説明会および相談会」の第1回目がAP東京八重洲にて開催された。

本イベントは、原料生薬の国内での生産拡大に向け、産地化希望者と実需者のマッチングを図る目的で、薬用作物産地支援協議会(薬産協)が主体で毎年各地で開催している。

全4回の皮切りとなった今回は、ハイブリッド形式で開催、会場に10名(報道関係4名)、リモートで59名の方々に参加いただいた。

今回は、まず生薬国内生産検討班 小柳 裕和 氏より、薬用作物の栽培や流通の現状ならびに国内における産地化について語られた。

その後、行政および研究機関から、以下の4名の方々に登壇いただいた。

- ・ 厚労省 医政局 高杉 保宏 氏 「漢方製剤の現状等について」
- ・ 医薬基盤・健康・栄養研究所 河野 徳昭 先生 (リモートでの講演)  
「薬用植物資源研究センターからの資源ならびに情報提供」
- ・ 農水省 農産局 三奈木 英雄 氏 「薬用作物を対象とした補助事業等について」
- ・ 国立衛研 丸山 卓郎 先生 「日本薬局方および日本薬局方外生薬規格について」

そして最後は、録画映像であったが、福島県立医科大学 会津医療センター 漢方医学講座 三瀨 忠道 先生より「漢方医療の実際と生薬地産への取り組み」と題し、臨床医の立場より漢方の使用実態ならびに同県で行われている生薬栽培の現状についての講演があった。



【相談会の様子】

説明会の後に行われた相談会では、生薬の生産を検討している方々の相談に対して薬産協のメンバーが熱心に応対していた。

本イベントは、今後第2回目以降、福島県、長野県、奈良県と場所を移し、実際に生薬の生産に取り組んでいる事例の紹介を中心に11月中旬まで開催される。



【会場でご登壇の4名の講師】  
左から、三奈木氏、高杉氏、丸山先生、小柳氏



【河野先生】  
(リモート)



【三瀨先生】  
(録画映像)



【会場の様子】